

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
内部障害系理学療法学実習		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
甘利 貴志 他	D320	takashi.amari	火曜日 12:00～13:00		
授業の目的・概要	内部障害を呈する対象者に、理学療法を実施する機会が増加している。そのため内部障害系理学療法学実習では、内部障害疾患を呈する患者への理学療法を実践するために必要な基礎知識を習得する。そして具体的な評価および治療が実践できることを目的とする。実際に内部障害疾患を呈する患者の理学療法評価ならびに治療プログラムの立案方法を講義し、その後討論・GW・実技形式などを行い具体的な理学療法内容について理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	最新理学療法学講座 内部障害理学療法学/編著:高橋哲也/医歯薬出版株式会社/2021				
参考書	理学療法リスク管理マニュアル 第3 版/著:聖マリアンナ医科大学リハビリテーション部/三輪書店/2011 病気がみえる vol.2 循環器 第5 版/MEDIC MEDIA/2021 病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝内分泌 第5 版/MEDIC MEDIA/2019 病気がみえる vol.4 呼吸器 第3 版/MEDIC MEDIA/2018				
外部教材	呼吸機能検査の実際 (Spirometry) 一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 作成 (予定)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	内部障害疾患を呈する患者の理学療法評価・治療に必要な基礎知識を説明できる。			PT (1) ～ (6)	
②	内部障害疾患を呈する患者の理学療法評価の実施方法を説明できる。			PT (1) ～ (6)	
③	内部障害疾患を呈する患者の治療の実施方法を説明できる。			PT (1) ～ (6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	心不全の理学療法評価(生化学検査等も含む)・治療を学習する。「担当:甘利」	講義、討論、GW	心不全の理学療法評価・治療を教科書、配布資料で予復習する。	1	
2	虚血性心疾患の理学療法評価(生化学検査等も含む)・治療を学習する。「担当:甘利」	講義、討論、GW	虚血性心疾患の理学療法評価・治療を教科書、配布資料で予復習する。	1	
3	大動脈瘤・解離や閉塞性動脈硬化症、Raynaud 症候群、深部静脈血栓症の理学療法評価・治療を学習する。「担当:甘利」	講義、討論、GW	大動脈瘤・解離や閉塞性動脈硬化症、不整脈等の理学療法評価治療を教科書等で予復習する。	1	
4	心臓疾患の理学療法の実施方法について復習する。また心臓疾患の理学療法の効果について学習する。「担当:甘利」	講義、討論、GW	心臓疾患の理学療法の実施方法と効果を教科書、配布資料で予復習する。	1	
5	心臓疾患の理学療法の実施方法について復習し、模擬症例に対する理学療法評価、リスク管理、治療プログラムをレポートとして作成する。「担当:甘利」	講義、討論、GW	心臓疾患の理学療法の実施方法と効果を教科書、配布資料で予復習する。	1	
6	糖尿病、肥満、慢性腎臓病、悪性腫瘍の理学療法の治療について学習する。「担当:大塚」	講義、討論、GW	糖尿病、肥満、慢性腎臓病、悪性腫瘍の理学療法の評価を教科書、配布資料で予復習する。	1	
7	呼吸理学療法の概要について学習する。「担当:新任教員」	講義、討論、GW	呼吸理学療法の概要を教科書、配布資料で予復習する。	1	
8	呼吸器理学療法の評価法(体表解剖、視診、触診、聴診、打診)について学習する。「担当:新任教員」	講義、討論、GW	呼吸理学療法の評価(体表解剖、視診、触診、聴診、打診)を教科書等で予復習する。	1	
9	一般的な慢性期呼吸器疾患の理学療法評価・治療について学習する。「担当:新任教員」	講義、討論、GW	呼吸器疾患の理学療法評価・治療を教科書、配布資料で予復習する。	1	
10	急性期呼吸器疾患の理学療法評価・治療、酸素療法・人工呼吸療法・周術期における理学療法について学習する。「担当:甘利」	講義、討論、GW	酸素療法・人工呼吸療法・周術期における理学療法評価・治療を教科書、配布資料で確認し、実技を予復習する。	1	
11	医学的情報(動脈血液ガス、呼吸機能、画像診断など)の評価について学習する。「担当:田中」	講義	医学的情報の評価を教科書、配布資料で予復習する。	1	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

12	呼吸不全および COPD の疫学、病態、医学的治療について学習する。「担当: 田中」	講義	呼吸不全および COPD の疫学、病態、医学的治療を教科書、配布資料で予復習する。	1
13	各呼吸器疾患の理学療法プログラムの立案について学習する。「担当: 新任教員」	講義、討論、GW	各呼吸器疾患の理学療法プログラムの立案を教科書、配布資料で予復習する。	1
14	各呼吸器疾患に対する理学療法の復習し、模擬症例に対する理学療法評価、リスク管理、治療プログラムをレポートとして作成する。「担当: 新任教員」	講義	呼吸器疾患の理学療法を教科書、配布資料で予復習する。	1
15	循環器、呼吸器疾患に対する理学療法の復習をする。「担当: 甘利」	講義	循環器、呼吸器疾患の理学療法を教科書、配布資料で予復習する。	1
試	定期試験 到達度評価・評価のポイント参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	20	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①	✓	講義で使用した配布資料や教科書をもとに、理解度を問う定期試験を行い評価する(筆記試験、80点満点)。問題形式は選択式とする。	必要に応じて試験の解答を提示し、解説をする。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	第5・14回では、提示された症例に対する問題点を考え、評価・介入・リスク管理を考察し、それぞれレポートとして提出する。レポートは20点満点で、思考力・問題解決能力を評価する。	必要に応じてループリックによるレポートの採点結果を提示し、フィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

備 考	
他 担 当 教 員	大塚 篤也、田中 一正、新任教員
教員の実務経験	理学療法士として急性期病院での臨床経験、かつ内部障害分野における実務の経験あり。
実践的授業の内容	実際に担当した症例を提示し、講義内容と照らし合わせて症例を通して学んだ評価や治療の視点・工夫などを示すことで学生の理解度を深める。症例を特定できる個人情報は提示しない。
そ の 他	<p>*非常勤講師の都合により、日程の変更の可能性がある。 変更がある場合は、随時掲示板または授業時にアナウンスする。</p> <p>*実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。</p> <p>*全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は対面授業の参加は認めない。</p> <p>今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。</p>